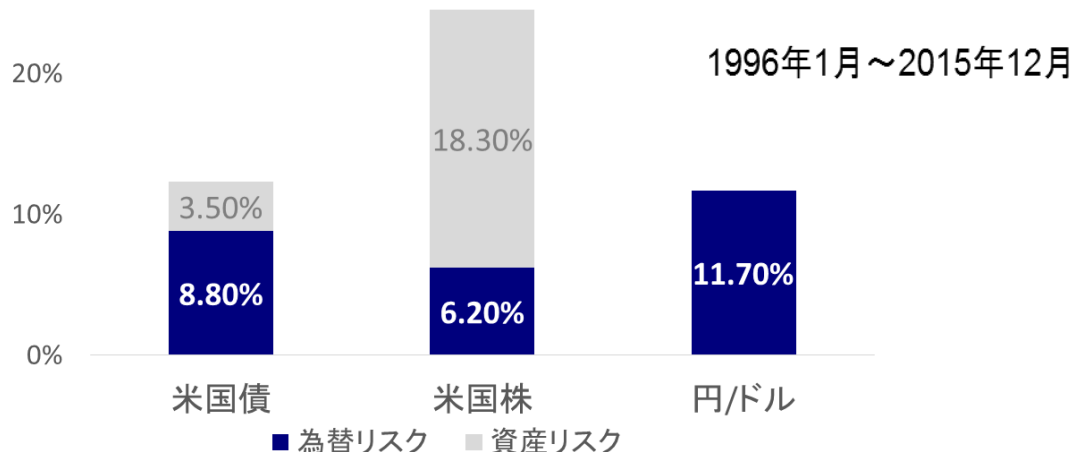


ATTENTION

為替が心配で外国株投資をしないのは、大きな機会損失

米国債と米国株の為替リスク(年次)



「外国株投資は為替が付き物で、外国株は会社の内容がよくわからないから」と積極的に投資しない傾向が日本人は強いです。一方で、債券だったら外貨でも利回りは確定で比較的安全だし、利回りが高いからと、外債投資には大いに向かっているようです。ブラジル・レアル、トルコ・リラなど、為替リスクが非常に高い新興国通貨にも利回りの高さ的魅力で、むしろ積極的に投資しています。しかしながら、それでは大きな投資機会を失ってしまいます。上のグラフにあるとおり、株式の場合、円から投資しても長期では株価の上昇が通貨安を打ち消し、為替リスクは次第になくなっていきます。グラフの期間の20年では米国株の為替リスクは円/ドル自体のリスクのほぼ半分に減っています。現在の米国株の状況も、円高を株価の上昇が打ち消している形です。一方債券は、通貨安が金利上昇を伴いがちで、為替リスクを打ち消す力は株に比べて弱く、円から投資する為替リスクは株に比べて高いということになります。「為替が円高になると恐いから」と、日本株よりずっといいパフォーマンスを続ける外国株に投資しないのは、あまりにも大きな機会損失なのです。

OPINION

コインチェック騒動は、金融庁の先走りが原因？

コインチェックに始まる仮想通貨騒動をみていると、どうも金融庁の制度整備の先走りが招いた問題という気がしてきます。改正資金決済法が施行され、仮想通貨が取引しやすい環境が整えられ、そこに業者が雨後の筍のように誕生し、中国では取引禁止になり、他の先進国規制当局もビットコインなどの仮想通貨の存在自体を社会的に通用するものと認めていない中で、日本だけが法制度を整え、仮想通貨先進国になってしまったという状況ではないでしょうか。日本は仮想通貨取引がしやすい環境ということで、取引が禁止になった中国からも資金が流れているようです。そこにコインチェックの580億円にも上る仮想通貨流失事件が起き、金融庁はあわてて、後追いでさまざまな継ぎはぎ対応をしているように感じます。

そもそも仮想通貨の値動きや取引状況を見ていると、どうみても投機によって動いていて、仮想通貨が決済に使われているように見えません。確かにブロックチェーンという決済に優れた仕組みはありますが、現実に投機でしか動いていないものを法律で管理するのは一生懸命にカジノ場を整備しているようなもので、大いに違和感を覚えます。ここは継ぎはぎだらけの法律を作るよりも、いっそのこと、このような一般個人に甚大な被害を与える大きな流失事件が起きたのですから、仮想通貨の取引を凍結して、改めて他の国と共同での法規制を進めるべきでしょう。これだけ不安定なものを、法律にもとづく社会の仕組みとして置いておくわけには行きません。そうしておくことは、一般個人がさらに傷を深くするだけです。

MARKET

	(2月末)	(1月末比)
日経平均	22,068.24円	-1,030.05円 (-4.5%)
NYダウ	25,029.20ドル	-1,120.19ドル (-4.3%)
米ドル	106.70円	-2.55円 (-2.3%)

今月の言葉：

倫理的な卓越性ないし徳は、本性的に与えられているものではない。それは行為を習慣化することによって生まれる。
-アリストテレス「ニコマコス倫理学」

今年のバフェットの「株主への手紙」

バークシャー・ハサウェイを率いるバフェットの「株主への手紙」が今年も出ました。世界の投資家がこの「手紙」が来るのを今かと待っています。そのエッセンスを紹介しましょう。

1. トランプ減税のプラスの影響大きい

バークシャーの1株あたり簿価は前年比+19.1%とS&P500の+9.9%を大きく上回った。ただし19.1%のうち8.5%はトランプ減税による。バークシャーは米国内の事業が多いので、特に減税の恩恵が大きい。その影響を除いたネットでも、1株あたり簿価は+10.6%でS&P500の9.9%を上回った。

2. 買収価格の高騰がネックになっている

企業買収のキーポイントは、持続的競争力、優秀な経営陣、高い収益率、魅力的なリターンでの内部成長ポテンシャル、そして賢明な買収価格だが、2017年はその買収価格が高くなりすぎた。そのため投資資金は1年前から296億ドル増えて1160億ドル(12兆円)抱えているが、我々は、大型の買収機会がいずれ訪れると信じている。他がやや思慮を欠いているとき、我々は思慮深く事に当る。

3. 借入で株を買うのは愚かな行為

バークシャー株価は過去40年で4回も37%~59%の間で下落している。短期ではどれだけ下がるかわからない。借り入れていたら、居たたまれずに、投資判断を間違ってしまう。逆に、お金があれば、大きく下げたときチャンスが訪れる。

4. ヘッジファンドとの賭けに大勝ち

選りすぐりのファンドからなる5つのヘッジファンドとS&P500インデックスファンドとの2017年まで10年間の騰落率で

S&P500インデックスファンドに賭けたバフェットが大勝ち。5つのヘッジファンドの騰落率平均が36%、S&P500インデックスファンドが2.3倍。おまけに、100万ドルの賭けで、両者が零クーポン債におのおの32万ドルを供託し10年後の満期に備えたが、5年前にこの債券の価格が高騰し、満期までの利回りが0.9%という高値にきたので、双方合意の下にバークシャー株に転換したら、なんと2017年末には222万ドルになり、100万ドルの予定の“少女基金”への寄付が2倍以上の額になった。

他のバフェットの言葉

- ・(買収で)目に見える資産に賭けるより、人に賭けるほうが確実だ。当てにできるのは、頭脳と資本だ。
- ・市場株式は、チャートの動きやアナリストの目標株価、メディアの意見で買うことはしない。あくまで事業の一部を保有する視点で投資する。
- ・短い期間ではマーケットは投票計だが、長い期間では重量計だ。-師匠ベンジャミングラハムの言葉
- ・ヘッジファンドとの賭けでの教訓:
大きな“やさしい”決定(S&P500インデックスファンドに投資)から離れず、動くことを控える。
-ヘッジファンドのマネージャーは10年の間何千回もの取引を行なっただろう。

バフェットの投資手法は、おそらく最も確実に投資で勝てる方法です。そして、その方法をぶれずに続けていくことが、非常に大事なこととあらためて感じます。

SEMINAR

大幅刷新！びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要があります高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男

日時：2018年3月24日(土)15:00~17:00

場所：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「3月24日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
メール：info@bfsc.jp Tel：03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール：info@bfsc.jp